

房総 だより

(農)房総食料センター

千葉県山武郡横芝光町上原 368-1

<http://www.boso.or.jp/>

☆産地情報をお知らせします。

発行：2020年7月10日

のら望話

収穫作業に苦戦



梅雨（つゆ）とは元来シトシトと続けて降る雨と云うイメージであつたが近年のそれは全く別物である。テレビ等で「50年に一度、100年に一度の豪雨」と言われる雨が何日も降り続くのだから堪らない。現に九州全域では嘗て経験したことの無いような甚大な被害が出ている。

その地区程ではないが私たちの地域でも農業に様々な悪影響が出てきている。梅雨とは言え少しでも晴れる時間帯があればよいのだが今年のそれはほぼゼロが何日も続いている。然るに日照不足からの生育不良や病気、品質低下等だ。我が家では今かぼちゃの収穫期。本来は四駆の軽トラで圃場に入り込んで行うのだが、ぬかるんだ圃場に入ることができず、やむなく一輪車で100m近い距離を往復して道路まで運び出す。20～30kg積んだ一輪車を緩んだ土の通路を押すのだから大変な重労働。トラック一杯の量を収穫し終えたときにはヘトヘトだ。先日待ちに待った晴れ間が少し続いたため、ここぞとばかり収穫に取り掛かり、軽トラで圃場の中に入るのは無理かなと思いつつも上述の一輪車作業を思うとついつい無理もしたくなり、カミさんに先を歩かせ緩みを確かめながら徐々に乗り入れますと案の定ぬかるみに嵌った。その瞬間は血の気が引く思い。徒歩で家まで戻りトラクターとワイヤーロープを持って現場へ。やっとの思いで軽トラを引きずり出すのに小一時間。こんなことがあると、どうしても暫くの間夫婦の口数は無く不機嫌が続くという二次被害までもが生じる。そんな訳で収穫作業に限っただけでも通常の倍以上の手間暇を要することになる。そんな際は仲間のかぼちゃ部会のLINEに状況を知らせ、愚痴り、苦労を共有することでなんとか気力を維持している此の頃。

2020-07-08 乙女座のM